

第6回海洋深層水利用特別功労賞（2019年度）

海洋深層水とその資源利用に関する社会啓蒙活動

吉嶺 明人¹

このたび、「海洋深層水とその資源利用に関する社会啓蒙活動」に対して、2019年度学会特別功労賞を授与していただきました。私は、研究者ではありませんし、商品開発などに取り組む企業関係者でもありません。鹿児島で海に関する情報紙を発行している身であり、果たして権威のある学会の賞に値するのかわかりませんが、これまで取り組んできました取り組みを評価していただきまして、感謝いたします。

私が現在取り組んでいます仕事は、季刊紙「かごしまタラソニュース」の発行を通じて、「海」の可能性を読者の方々に理解していただくことです。

鹿児島県と宮崎県をエリアとする南日本新聞の記者をしていました2002年、紙面で年間企画の話が持ち上がりました。鹿児島は錦江湾、太平洋、東シナ海に囲まれ、多くの離島も連なり、住民は多かれ少なかれその恩恵を受けており、海洋県のよさを伝えたいと考えていました。

そのころ、鹿児島県では当時の下甕村（現薩摩川内市）で、九州で初めての深層水取水事業の話が民間主導で進んでいました。一方、沖縄の隣に位置する離島与論町では一人の医師の音頭で、タラソセラピー（海洋療法）普及の話も進んでいました。

編集委員というポストにいた私は、この二つのテーマを軸に年間企画「タラソ（海） 新世紀の恵み」と題する連載を始め、5部構成で年間50回あまりの記事を展開しました。

その中の大きなテーマの一つが、海洋深層水の活用でした。鹿児島だけでなく、全国の先進地である高知、富山、沖縄取材して、甕島で事業準備に奔走する関係者の熱気、先進地の画期的な実践を紹介



写真1. 甕島のこしき海洋深層水ボトルライン

介しました（写真1）。

この1年間にわたる取材を通じて、関係する人々と知己を得ることができ、さまざまな知識の蓄積もできました。定年後、こうしたことをベースに、海の総合情報紙と銘打った「かごしまタラソニュース」発行を始め、年に4回発行し今年9月で第45号にこぎつけました。

この情報紙では、海を切り口に健康増進から医療、水産、農業、地域おこし、海洋エネルギーや海洋資源、芸術活動、伝承など、あらゆるテーマを取材して、紙面で紹介しています。話題は鹿児島がメインですが、県外の先進的な話題も取り上げて、現地に取材しております。

海洋深層水をめぐる取り組みも重要な取材フィールドです。鹿児島では、甕島で取水される「宝の水」を産学の様々な分野で活用する実践が広がっています。これまでのタラソニュースで紹介した事例を紹介したいと思います。

民間ベースでは、薩摩川内市の食品会社がニガリを大豆畑に葉面、土壌に散布し、こだわり豆腐作り

¹ タラソネットかごしま 代表（〒890-0042 鹿児島県鹿児島市薬師2-36-22）

に挑戦。凝固剤にもニガリを加え、濃厚な味わいを実現していました(写真2)。また、鹿児島市の農家は濃縮海水を使い、新野菜であるアイスプラントの水耕栽培に挑戦し、消費者に好評でした。鹿屋市の



写真2. 大豆畑に深層水ニガリ散布



写真3. アイスプラントの水耕栽培



写真4. 甌島での海藻陸上養殖研究

農家も土耕栽培でのアイスプラント作りを行っていました(写真3)。

企業ベースでは、ある会社が下甌の取水地近くで清浄性などの特徴を利用してアサリの陸上養殖に取り組み、出荷に期待が高まっています。南国殖産はミネラルウォーター、塩、石けん、ニガリ、食品加工用に原水販売などに取り組んでいます。鹿児島くみあい食品はマコンブ養殖の実験設備を下甌町に設置し、実用化を模索していました。

大学ベースでは、鹿児島大学の取り組みが活発です。深層水を利用してトマト水耕栽培の試みがあり、ミリン、オゴノリなどの海藻の陸上養殖研究も行われ、産業化、地域活性化に期待が高まっています(写真4)。また、鹿児島純心女子大学グループが高齢者施設で、入所者の食事時にミネラルウォーターを3カ月間使用したところ、高血圧症などを改善する効果があることを明らかにして、生活習慣病抑制が期待されました。県外でも取材し、佐賀大や久米島での海洋温度差発電研究の現状も紹介しました。

このほかにも、さまざまな取り組みを紹介し、深層水の利活用の後押しをしています。甌島の取水量は他地域と比べると小規模ですが、さまざまな分野で利活用の幅が広がっています。こうした取り組みの背景には、富栄養性、清浄性、水質安定性などの特徴がある深層水への認知度が高まっていることがあります。

「かごしまタラソニュース」では、鹿児島あるいは県外の関係者が「冷たい水」を「熱い水」に変えようという取り組みを継続して取材し、啓蒙活動を継続していきます。学会の皆様方からの情報提供をいただけましたら、取材にうかがいたいと考えておりますので、どしどし話題をお寄せください。

なお、購読ご希望の方は、下記へご連絡ください。

- ・季刊紙「かごしまタラソニュース」発行
- ・発行元 「タラソネットかごしま」
- ・発行人 吉嶺明人

〒890-0042 鹿児島市薬師2-36-22

携帯 090-2962-8150

E-mail: tami@hyu.bbiq.jp

talassonews@gmail.com